

S.E.N.S 養成カリキュラム シラバス (2018 年度版)

E. 実 習

◇ 指導実習 (6 P)

【 概 要 】

指導実習の目的は、実際の事例の検討を通じて、LD、ADHD、ASD 等の「発達障害」のアセスメントの解釈から指導に至るに過程を経験し、その実践的な力を高めることにある。受講者は、実習で提示される子どもの事例について、学習や行動のつまずきの原因と子どもの発達特性を分析し、教育的支援が必要な領域とその具体的内容について検討する。中でも実習では、学習面の支援を重視する。

以上の検討をもとに、個別の指導計画を作成し、通常の学級をはじめとするさまざまな場面で計画をどう実現していくかを考える。指導の計画と展開については、①通常の学級における配慮・支援の実際、②個別支援の場での指導内容と方法、等を中心に、講師と受講者によるディスカッションを含めながら、実践的に学んでいく。

【 キーワード 】

事例検討、アセスメントの解釈、障害特性、学習の支援、個別の指導計画、指導教材

【 到達目標と評価 】

- ①提供された事例情報から、子どもの発達特性とつまずきの原因を読み取り、支援が必要な領域と支援内容を具体的に挙げることができる。
- ②子どもの学習や行動のつまずきと、それに対応する指導の方法・内容・教材の関係を具体的に説明することができる。
- ③それに基づいて、事例に関する個別の指導計画を作成することができる。